証券コード:3435

サンコーテクノ株式会社

2022年3月期
決算説明会

2022年5月27日

1　会社概要

2　2022年3月期実績報告

3　中期経営計画（2021－2023年度）

4　2023年3月期通期計画

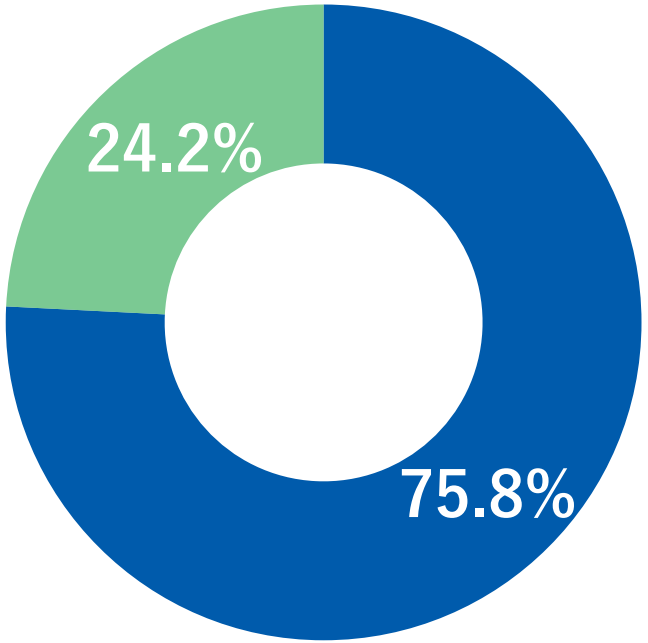
会社概要

基本情報（2022年3月末現在）

社　　名	サンコーテクノ株式会社
設　　立	1964年5月15日
代 表 者	洞下　英人（ほらげ　ひでと）
所 在 地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16
社 員 数	連結：599名　単体：322名
資 本 金	768百万円
国内拠点	20拠点
連結子会社	10社（海外3社含む）
市　　場	東証スタンダード市場
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等）、 複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工および輸出入

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

事業セグメント構成（2022年3月期実績）



売上高
18,735百万円

ファスニング事業（売上高：14,201百万円）

あと施工アンカー・ドリルビットの開発・製造・販売
土木建築関連（耐震工事）・太陽光関連の工事管理 等

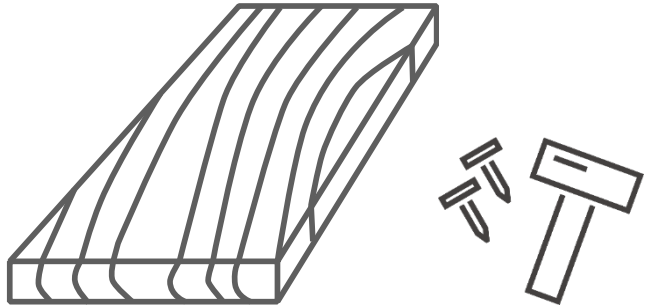
機能材事業（売上高：4,533百万円）

電動油圧工具関連およびFRPシート関連
電子プリント基板や各種測定器の製造・販売 等

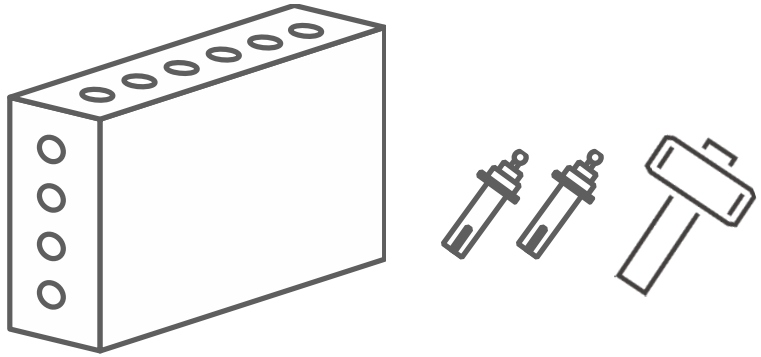
Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

「あと施工アンカー」について

あと施工アンカーは、コンクリートなどに対して物を固定・取り付ける際に使用されます



木材などには「釘」



コンクリートなどには「**あと施工アンカー**」

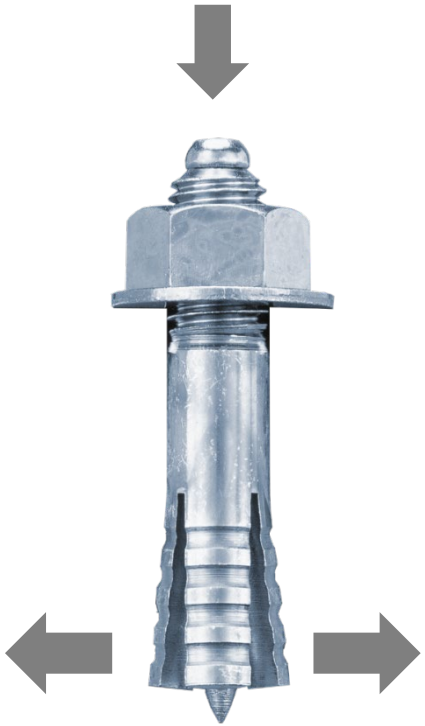
- **あと施工アンカー**
  - **金属系アンカー**
  - **接着系アンカー**
  - **その他のアンカー類**

あと施工アンカーには
大きく分けて**3つの分類**があり
そこからさらに**21の分類**に

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

あと施工アンカーの仕組み（芯棒打込み式の場合）

製品名：オールアンカー



芯棒を打ち込むことで
拡張部が広がる

コンクリートに物を留め付ける
際などに使用される

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

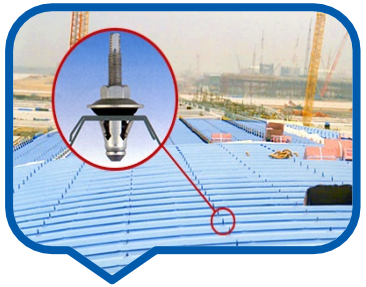
こんなところにサンコーテクノ

あと施工アンカーは、身近なところで使用されています
看板や標識の取付けから配管設備の固定、ソーラーパネルの設置から耐震補強に使用されるなど
その用途はさまざまです

高速道路の防音壁に

看板・標識の取付けに

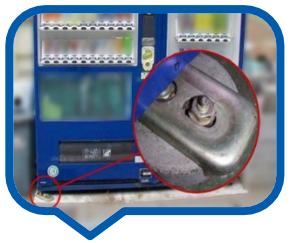
金属の屋根に



ソーラーパネルの設置に

ベンチの取付けに

自販機の固定に



手すりの取付けに

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

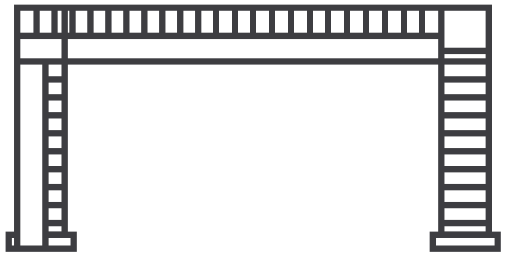
機能材事業の主要製品

1

運転前後の**アルコール測定**に

呼気アルコール検知器

2



コンクリート構造物・鋼構造物の

補修・補強にFRPシート

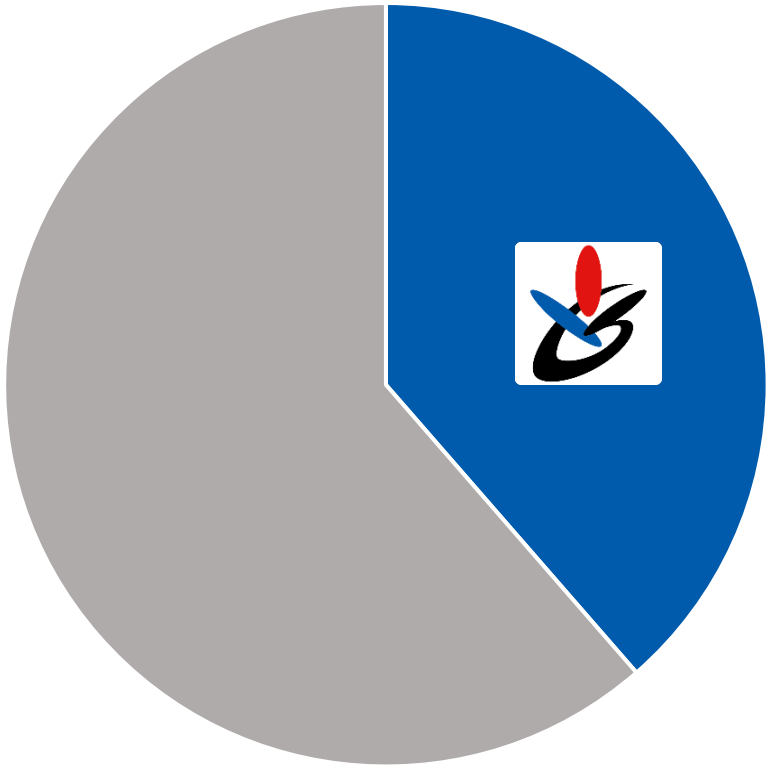
3

建設現場で**切断・穿孔・曲げる**
省人化・省力化に**電動油圧工具**

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

当社の強み①　市場シェア

あと施工アンカー市場における高い市場シェア



あと施工アンカー生産額市場規模

18,578百万円（24社）

サンコーテクノ 約40%　他社（23社） 約60%

あと施工アンカー業界で

国内シェアNo.1

※JCAA 2020年「あと施工アンカー」生産実績調査結果報告書をもとに当社にて作成

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

当社の強み②　ビジネスモデル

当社	ファスニング事業	機能材事業
販売先	資材商社 地域販売店 約5,000社	商社・代理店
	ユーザー情報 試験・調査仕様化のご提案	ユーザー情報 メンテナンスの実施
ユーザー	ゼネコン・設計コンサル・サブコン 工務店・設備メーカー・設備工事業者 等	ゼネコン・設計コンサル・サブコン 工務店・工事業者・旅客貨物事業者 プラスチック成型事業者・電子部品製造業

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

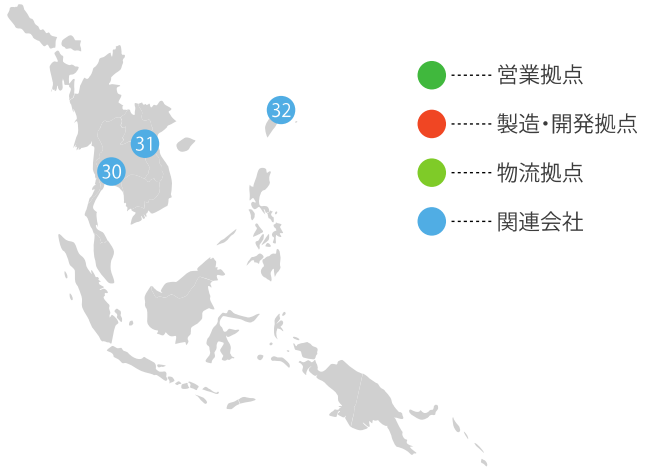
当社の強み③　グループネットワーク（2022年3月末現在）

日本国内：29拠点

1. 南流山事業所
2. 札幌支店
3. 仙台支店
4. 名古屋支店
5. 大阪支社
6. 福岡支店
7. 新潟営業所
8. 横浜営業所
9. 静岡営業所
10. 金沢営業所
11. 岡山営業所
12. 広島営業所
13. 広島事業所
14. 高松営業所
15. 鹿児島営業所
16. 流山事業所
17. 野田工場
18. 奈良工場
19. 中央物流センター
20. 西部物流センター
21. 株式会社IKK
22. 株式会社スイコー
23. アイエスエム・インタナショナル株式会社
24. 株式会社サンオー
25. 株式会社イーオプティマイズ
26. 浦和電研株式会社
27. 成光産業株式会社
28. 成光パック株式会社
29. 日本メカニック株式会社

海外：3拠点

30. SANKO FASTEM（THAILAND）LTD.
31. SANKO FASTEM（VIETNAM）LTD.
32. 三幸商事顧問股份有限公司



全国の販売拠点では在庫も保有

全国営業・即納体制が可能に

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

当社の強み④　グループ内の連携

建設分野における独自の締結技術の追究　IKK ／ アイエスエム・インタナショナル ／ サンオー ／ 日本メカニック

海外事業の拡大　SANKO FASTEM(THAILAND)LTD. ／ 三幸商事顧問股份有限公司 ／ SANKO FASTEM(VIETNAM)LTD.

新規事業の強化・拡大　スイコー ／ 浦和電研

事業の多角化推進　成光産業 ／ 成光パック ／ イーオプティマイズ

強みと強みを掛け合わせ新たな価値を創造

サンコーテクノ株式会社 ✖

IKK（電動油圧工具）	トータルファスニングシステムの構築
SFT・SFTW・SFV（海外ネットワーク）	アジア圏における建設資材のマーケティング
スイコー・浦和電研（電子基板）	アルコール検知器をはじめとした各種測定器のメンテナンスおよび電子機器の試作開発
成光産業（物流・包装機器）	共通顧客の開拓

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

当社の強み⑤　研究・開発と製造体制

研究・開発

中・長期の開発テーマや他社との共同案件は「**技術研究所**」
短期的で迅速な対応が求められる案件は「**営業開発部**」

年間研究開発費　**約1.5億円**

（過去3年平均）

製造体制

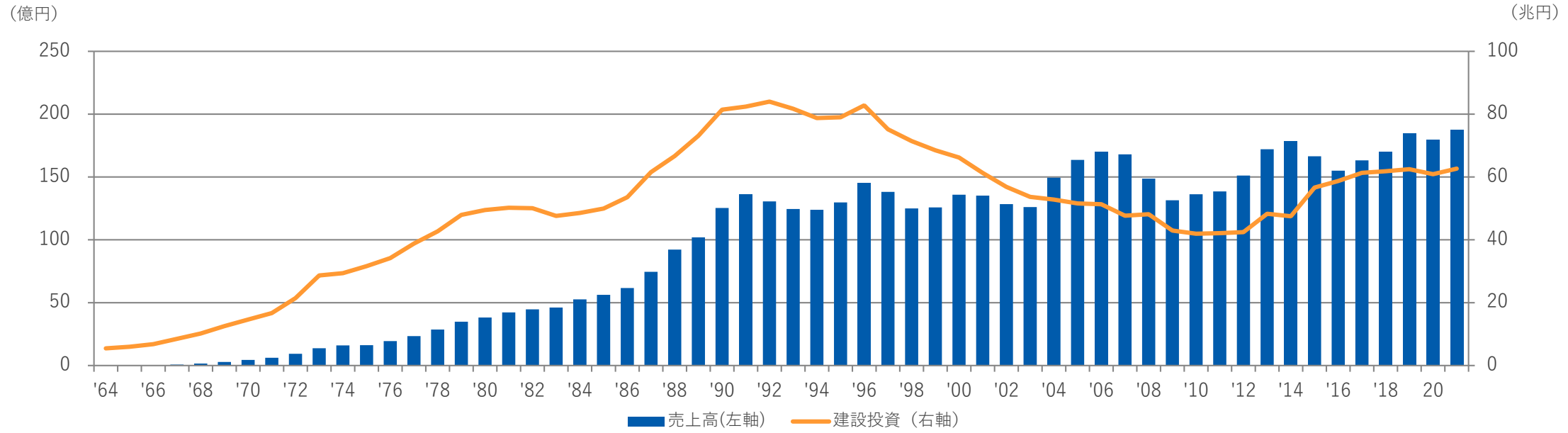
国内には東西にそれぞれ工場を保有するほか
多数の協力工場とのパートナーシップをもち
独自の**ファブレス体制**を形成

また、**海外（タイ・台湾）**にも**製造体制**を有しており
製品の製造技術や生産量に応じて生産拠点を決定している

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

当社成長の軌跡

1964年　三幸商事株式会社を設立
1965年　オールアンカー開発・実用新案登録
1966年　三幸工業株式会社を設立
1988年　三幸商事顧問股份有限公司（台湾）を設立
1988年　SANKO FASTEM(THAILAND) LTD. を設立
1993年　西部物流センターを開設
1996年　三幸商事・三幸工業の合併でサンコーテクノ誕生
1998年　中央物流センターを開設
2002年　ものつくりテクニカルセンターを開設
2003年　（株）スイコーを子会社化
2004年　（株）IKKを子会社化
2005年　ジャスダック証券取引所に株式上場
2006年　アイエスエム・インタナショナル（株）を子会社化
2011年　SANKO FASTEM(VIETNAM) LTD. を設立
2015年　東証第二部へ市場変更
2018年　技術研究所を創設
2019年　浦和電研（株）を子会社化
2019年　成光産業（株）・成光パック（株）を子会社化
2021年　日本メカニック（株）を子会社化



フェーズ１ 成長への始動
国内拠点の拡充（全国販売網の確立）

フェーズ２ 転換期
製造と物流拠点の再構築
工事部門の設立

フェーズ３ 持続的成長へ
産学連携の開発体制の構築
事業の多角化推進

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期実績報告

決算概況

- 売上・利益ともに過去最高を更新
- 完成工事高は減少した一方で、あと施工アンカーの販売は堅調に推移
- アルコール検知器関連の特需を取り込み、機能材事業も好調に推移

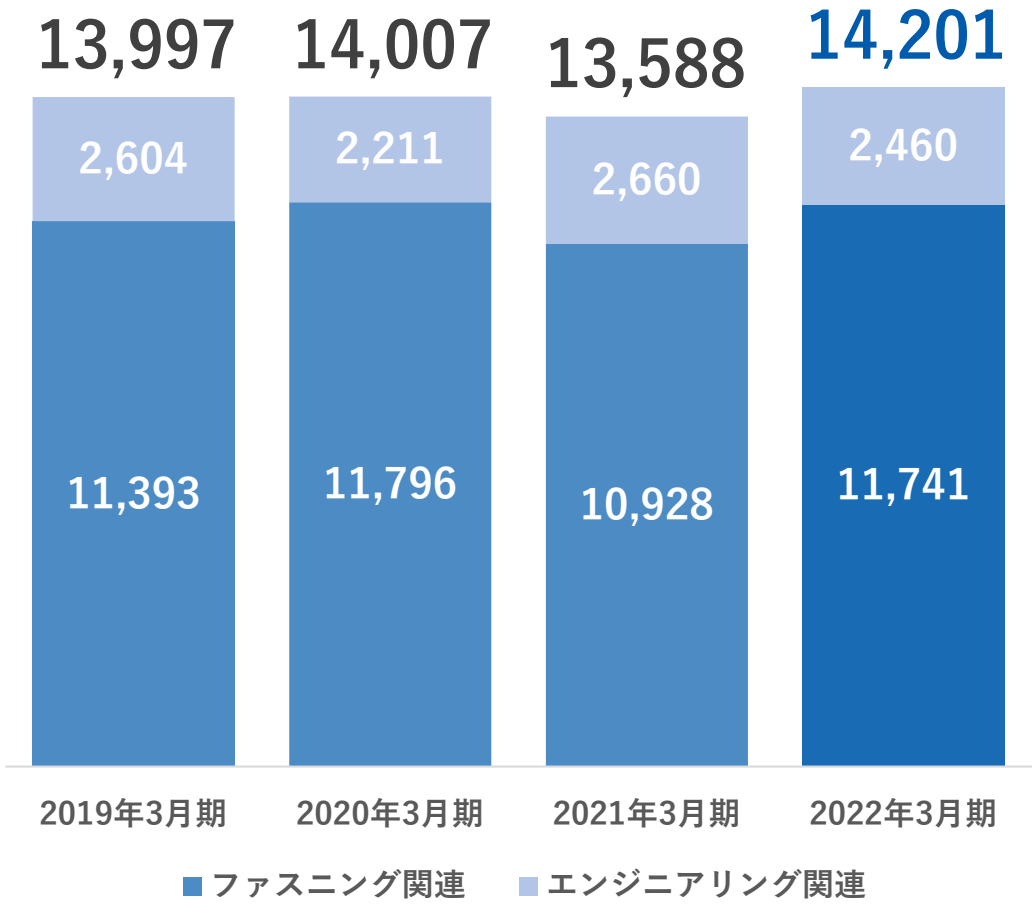
（百万円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 期初予想	2022年3月期 実績	前年同期比		対予想比	
売上高	17,940	18,350	18,735	+795	+4.4%	+385	+2.1%
営業利益	1,475	1,520	1,716	+241	+16.3%	+196	+12.9%
営業利益率（%）	8.2%	8.3%	9.2%	+1.0pt	ー	+0.9pt	ー
経常利益	1,481	1,520	1,697	+216	+14.6%	+177	+11.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,026	1,020	1,071	+45	+4.4%	+52	+5.1%

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

ファスニング事業（2022年3月期）

売上高推移

（百万円）



	実績（百万円）	前年同期比
売上高	14,201	+4.5%
セグメント利益	2,022	+14.8%

■ ファスニング関連

・インフラ土木向けの製品販売が好調に推移
・鋼材価格などの高騰に対応するため、一部製品の価格改定を実施したことで利益率の改善に寄与した

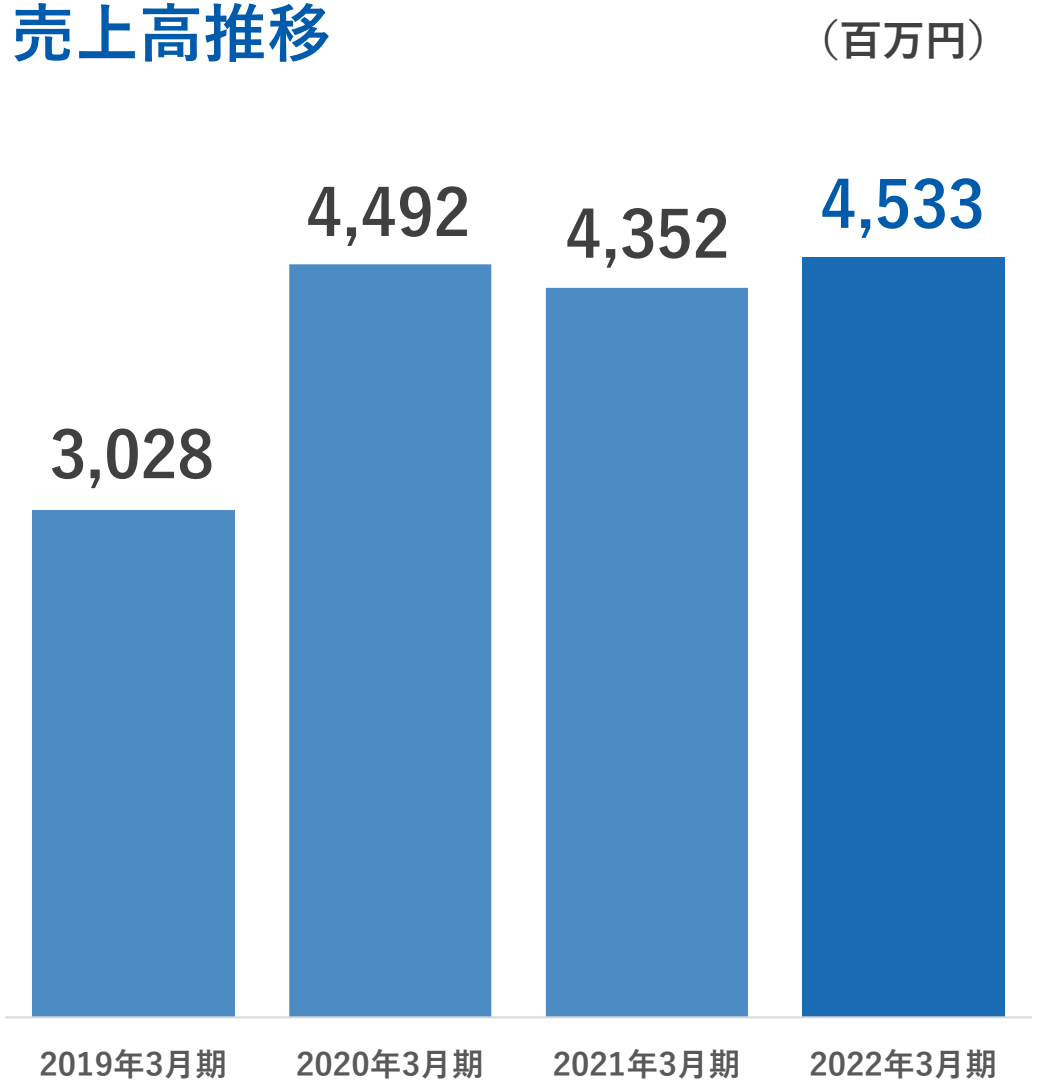
■ エンジニアリング関連

・インフラメンテナンス需要の下支えがあり、土木工事の受注は進んでいる一方で、設計検証の影響や材料価格の高騰により着工までに時間を要し、想定を下回る

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

機能材事業（2022年3月期）

売上高推移



	実績（百万円）	前年同期比
売上高	4,533	＋4.2%
セグメント利益	547	＋3.9%

■ 電動油圧工具関連
・海外販売は物流停滞により伸び悩み、国内は材料価格の高騰により着工できない現場が発生し販売が減少した

■ アルコール検知器関連
・白ナンバー事業者における酒気帯び有無の確認が義務化となったことで、需要拡大による製品販売が増加した

■ FRPシート関連
・e-シート関連商材のインフラ向けが好調に推移した

■ 電子基板関連
・設備投資の回復基調により順調に推移した

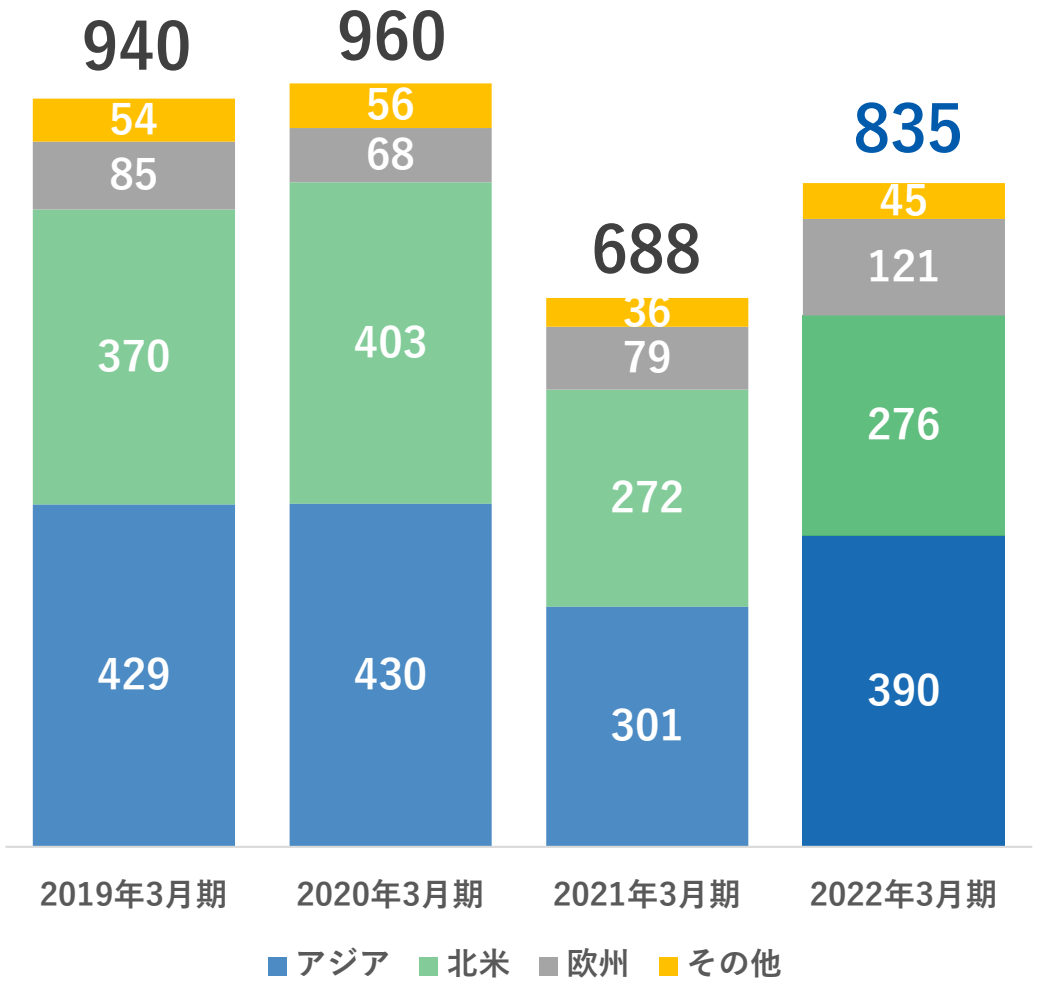
■ 包装・物流機器関連
・概ね計画通りに進捗した

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

海外展開

地域別海外売上高推移

（百万円）



海外販売は回復基調にあるものの
新型コロナウイルスや国際情勢を起因とした
物流停滞により販売が伸び悩む

新型コロナウイルスや物流停滞等に注視しつつ
年間10億円の売上目標は継続

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

連結貸借対照表	2021年3月期	2022年3月期	増減額
現金及び預金	2,416	2,428	＋12
棚卸資産	4,262	4,549	＋287
その他の流動資産	4,274	4,827	＋553
有形固定資産	5,472	6,248	＋776
その他の固定資産	1,296	1,230	△67
総資産	17,722	19,283	＋1,561
負債	4,104	4,773	＋669
純資産	13,617	14,510	＋892

単位：百万円

連結キャッシュ・フロー	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	924	1,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644	△523
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	18
現金及び現金同等物の期末残高	2,355	2,335
フリーキャッシュ・フロー	752	484

■ 主な増減理由

・棚卸資産
原材料及び貯蔵品の増加

・その他の流動資産
売掛金及び契約資産の増加

・有形固定資産
広島県・大阪府に販売拠点建設用地を購入

・負債
支払手形及び買掛金の増加

・投資活動によるキャッシュ・フロー
土地購入による支出があった一方、不動産の売却による収入があったため

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期の主な取組み（土木分野の強化）

ファスニング事業における土木分野の強化

営業開発部の創設

▶ 人員を増員し、改良開発の機能を拡充
各案件に対して迅速なフォローアップが可能に

NICHIMECHA

日本メカニックの子会社化

▶ 土木分野（とくにインフラ関係）における特注品の製造体制強化
土木向け製品バリエーションの拡充

エンジニアリング関連のDX化

▶ 調査 → 提案（設計）→ 工事受注まで一連の流れを構築
調査段階における3Dレーザースキャナーの導入

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期の主な取組み（土木分野の強化）

土木向けの注力製品の販売状況

メタルセーフアンカー

メタルロックアンカー

サイズミックエコフィラー

3製品合計売上
前年比51％増

高速道路・トンネル・橋梁など **インフラ** を中心に使用

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期の主な取組み（土木分野の強化）

新製品・サービスの展開

メタルアンダーカットアンカー
スマートタイプを発売

小型化による施工性の向上
狭い作業環境下での用途拡大

スキャニング＆モデリング
サービスの展開

1 現場を スキャニング

2 高精密 点群データ化

3 現場を丸ごと パソコン内に!

現場での計測作業を安全かつ短時間で実施
スキャニングしたデータを仮想空間としてPC内で表現

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期の主な取組み（アルコール検知器関連）

アルコール検知器のラインナップ

豊富なラインナップで
ユーザーの規模に応じた
最適な提案

2022年1月には検温機能を追加した
呼気アルコール検知・検温システム
『ALCFaceVital』『ALCGuardianVital』を発売

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2022年3月期の主な取組み（アルコール検知器関連）

アルコール検知器関連の販売状況

白ナンバー事業者においても、2022年10月よりアルコール検知器を使用した
酒気帯び有無の確認が義務化となるため、アルコール検知器の市場規模は拡大

緑ナンバー事業者（トラック・バス・タクシーなど）
義務化：2011年5月～

白ナンバー事業者（安全運転管理者選任事業所）
義務化：2022年4月～・2022年10月～

HPのPV数
問い合わせ件数

約10倍

「アルコール測定」と
「顔写真撮影」が同時に行える
ALCFaceST-2000 の売上

約5倍

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

中期経営計画（2021-2023年度）

長期事業環境の基本観

新型コロナウイルスの影響あるが長期事業環境の基本観は変わらない

社会的ニーズの高まり

■ 高度経済成長期に整備された各種インフラに幅広く、維持・保全・補修のニーズが拡大

■ 建設技能労働者等の人手不足を背景とした効率化・自動化へのニーズの高まり

■ 相次ぐ自然災害を背景に、強度性能・安全性に対するニーズの高まり

・オリンピック関連需要の収束
・新型コロナウイルスの影響による工事中断や遅れの発生

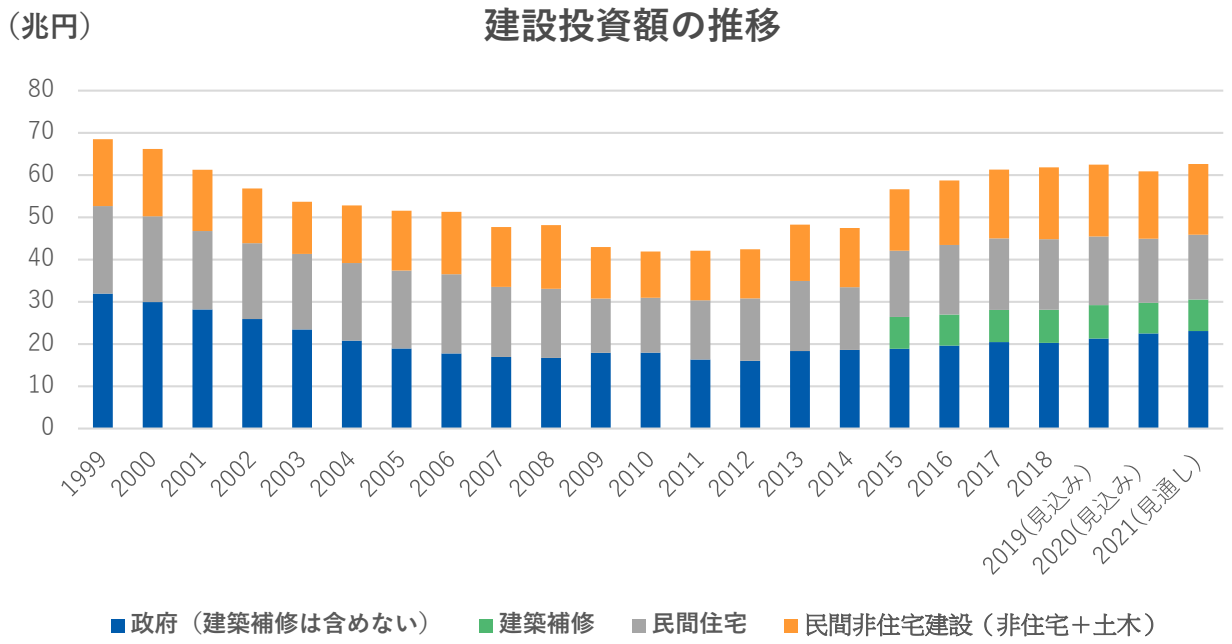
・都市再開発関連
・耐震補強工事を含むインフラ補修 等

国土強靭化計画関連へのシフト

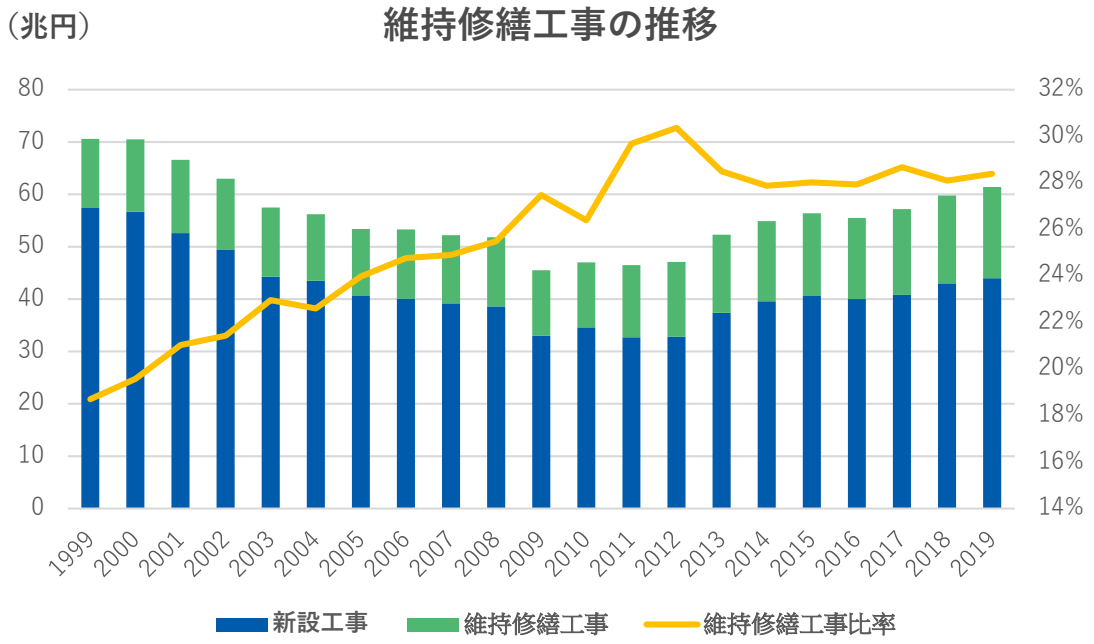
Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

建設投資額の推移

新型コロナウイルスの影響は回復基調にあり、設備投資や維持修繕工事などは堅調に推移すると予測する一方で、ウクライナ問題をはじめとした国際情勢による原油価格の高騰や物流停滞などに懸念あり



※国土交通省「建設投資見通し」より当社作成



※国土交通省「建設工事施工統計」および一般社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2020」より当社作成

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

中期経営計画（2021～2023年度）

S.T.G Vision 2023

私たちは、独自の技術とサービスに磨きをかけ、
安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります

2023年度経営計画

売上高　200億円以上　　売上高経常利益率　8%以上

※設備投資　15億円程度（M&Aを除く）

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

事業別計画と展望

ファスニング事業

2023年度売上計画：145億円（2021年度実績：142億円）

①ファスニング関連	製品・技術・サービスをバランスよく提供する「ソリューション営業」 地域密着型拠点戦略と事業本部のサポート体制で「顧客接点」を最大化
②エンジニアリング関連	「現場力」のさらなる向上へ 調査 → 提案（設計）→ 工事受注までの流れを構築 協力業者との強固な信頼関係を構築

機能材事業

2023年度売上計画：55億円（2021年度実績：45億円）

①電動油圧工具関連	国内拠点の販売網を活用した製品のさらなるPR活動 北米を中心とした海外売上高の回復
②アルコール検知器関連	安全・安心（健康）をキーワードとした新規サービスの追究 メンテナンス事業拡大とコト売りの「核」へ成長
③物流・包装機器関連	メンテナンス力の向上とコト売りへのシフト
④電子基板関連	グループ会社間のシナジーの追究
⑤FRPシート関連	歩道橋補修工法の全国展開

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期通期計画

2023年3月期 通期計画

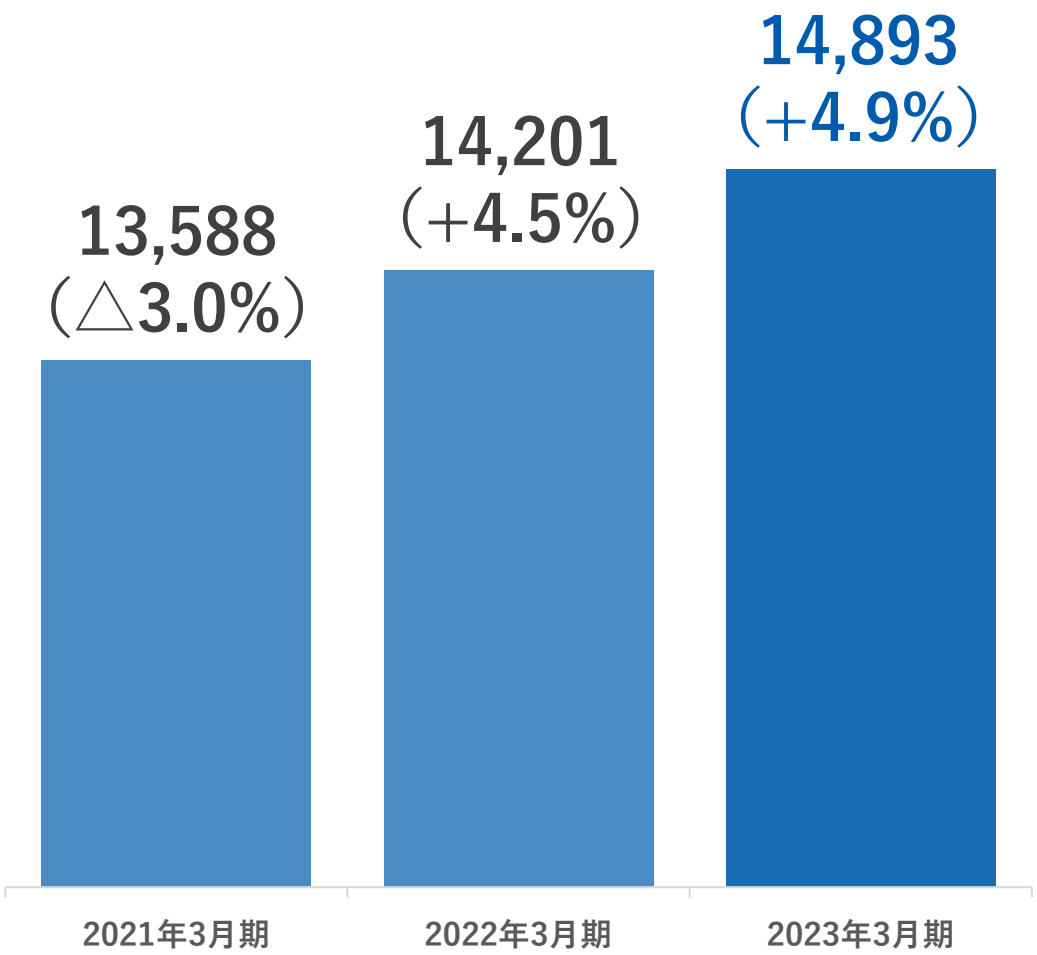
- インフラ・土木向けの需要は堅調な一方で、原材料の高騰や物流停滞等に注視が必要
- アルコール検知器関連における需要の高まりは今後も続く見通し
- 原燃料の高騰による各種経費増を見込む

（百万円）	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	前年同期比	
売上高	18,735	19,500	+765	+4.1%
営業利益	1,716	1,600	△116	△6.8%
経常利益	1,697	1,560	△137	△8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,071	1,050	△21	△2.0%

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期 業績予想のポイント　ファスニング事業

売上高推移



2023年3月期目標：14,893百万円

■ ファスニング関連

・インフラ土木向けの需要は堅調に推移する見込み
・鋼材価格高騰に対しては適切に対処していく方針

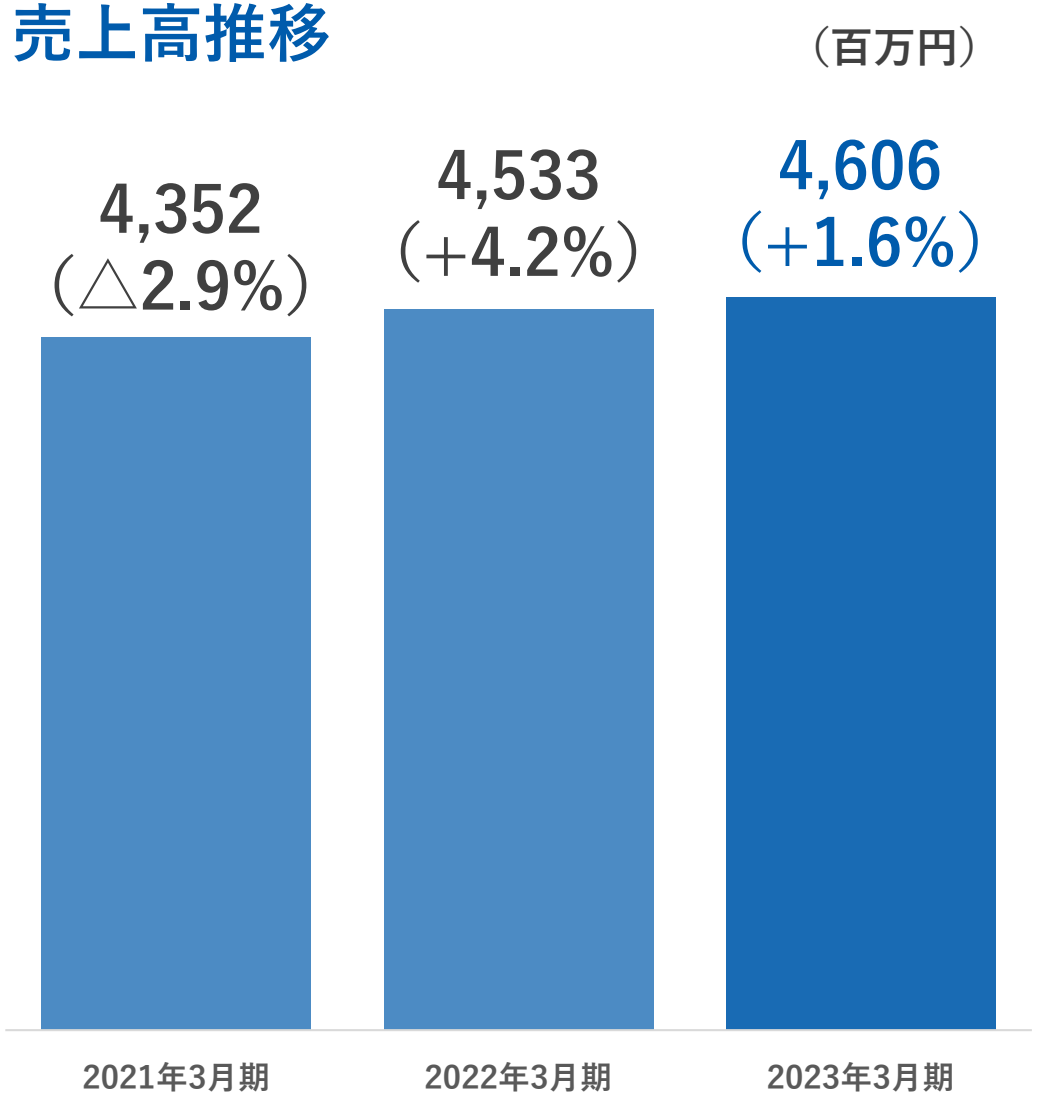
■ エンジニアリング関連

・土木工事の安定した受注とインフラメンテナンスの下支えにより堅調に推移するほか、前期の受注高が今期に計上されることで増収見込む

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期 業績予想のポイント　機能材事業

売上高推移



2023年3月期目標：4,606百万円

■ 電動油圧工具関連
・国内販売は前年並みで推移する見込み
・海外販売は回復基調にあるものの物流停滞に懸念あり

■ アルコール検知器関連
・義務化を背景とした旺盛な需要は継続する見込み

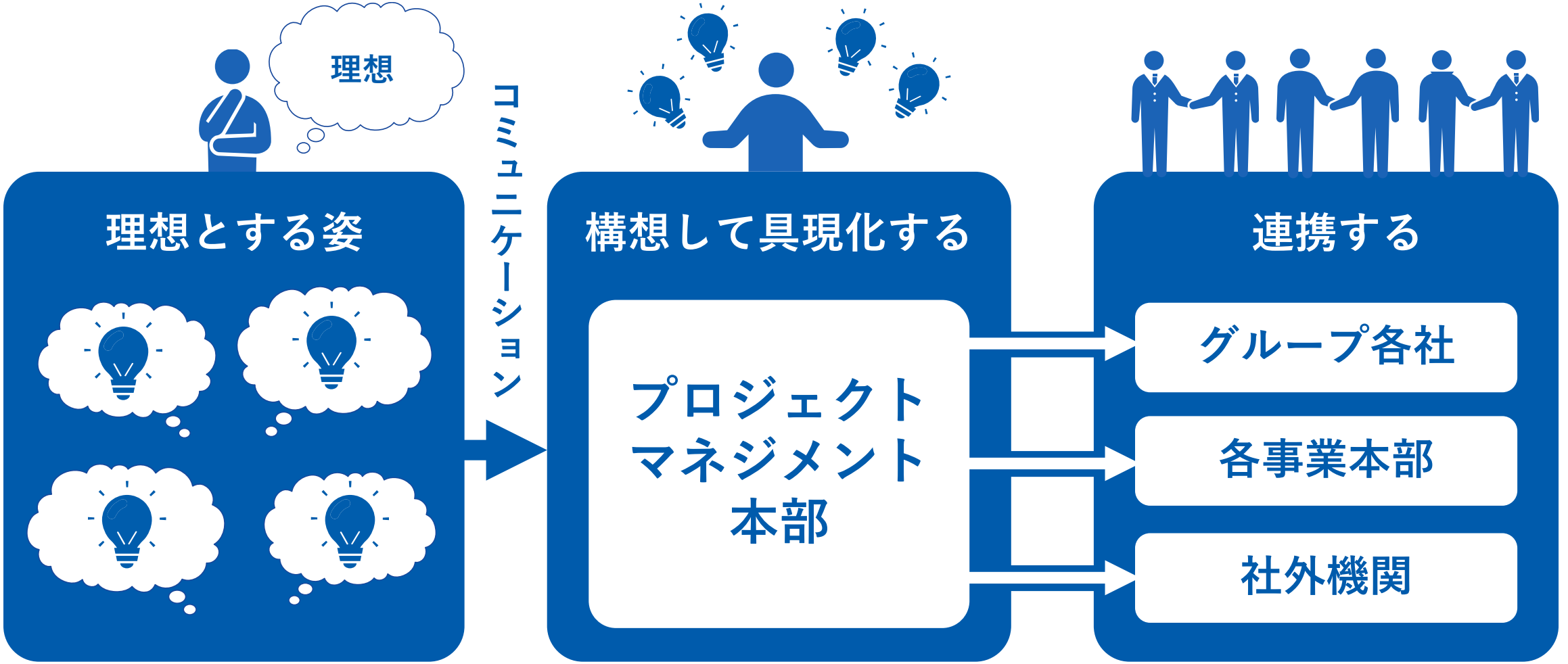
■ FRPシート関連
・歩道橋補修工法のPRを推進し、e-シート関連商材の販売増を見込む

■ 電子基板関連
・安定した受注と生産体制の改善により堅調に推移する見込み

■ 包装・物流機器関連
・プラスチック不使用の100%紙製ブリスター包装を可能とする機器の販売に注力

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

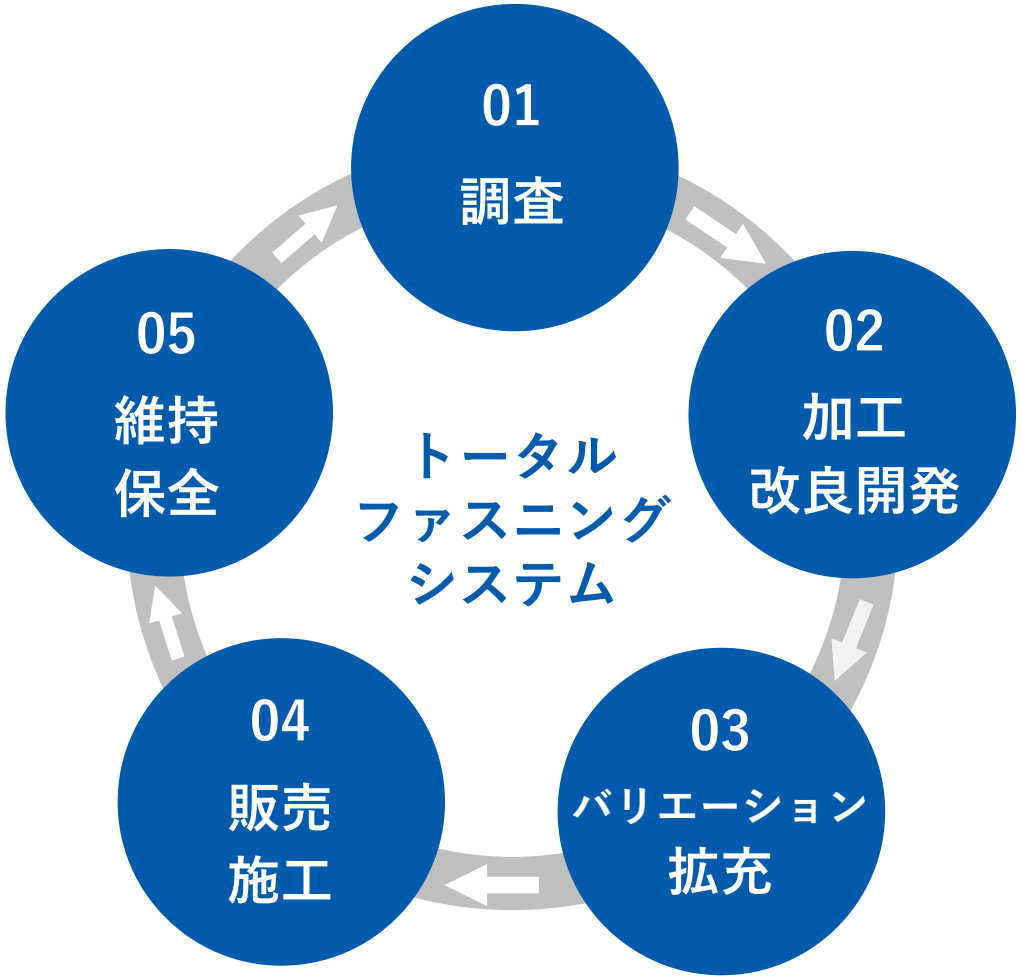
2023年3月期の主要施策（組織改革）



既存の枠を超えて活動する

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期の主要施策（土木分野の強化）



01 調査
IT技術を活用した調査で
作業時間の短縮

02 加工・改良開発
日本メカニックと営業開発部による
迅速な顧客対応

03 バリエーション拡充
製品バリエーションの拡充により
使用シーンの拡大を図る

04 販売：全国の当社グループ拠点（29拠点）と
販売代理店（5000社以上）から成る販売網の活用

施工：作業効率を高める施工ツールの提供と
施工管理による情報収集

05 維持・保全
製品販売・施工後のアフターサポートの
充実化により顧客満足度の向上

土木向けのトータルファスニングシステムを構築し、付加価値の向上を図る

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期の主要施策（アルコール検知器関連）

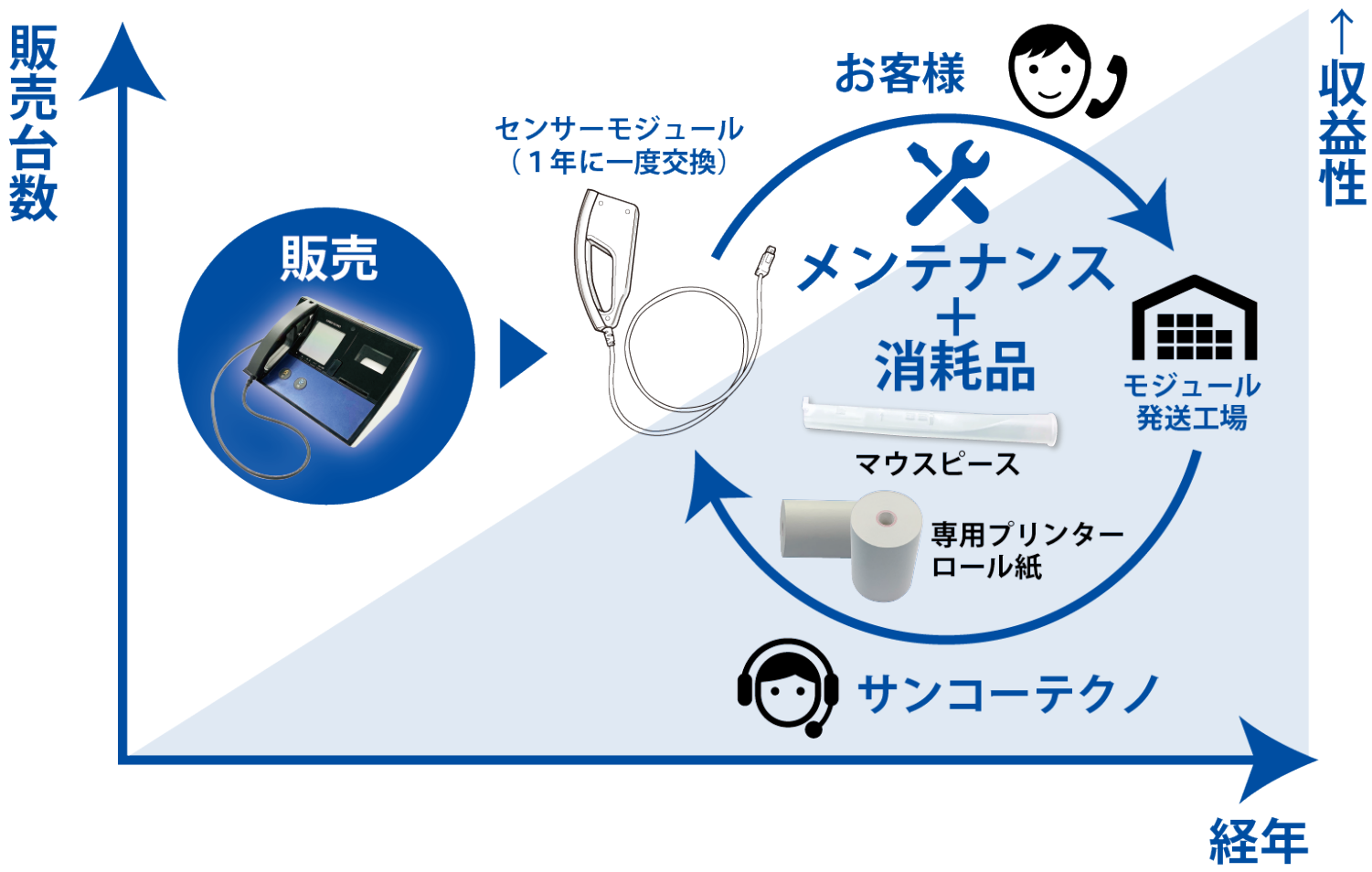
アルコール検知器の販売について

製品販売

メンテナンス

消耗品販売

・1年ごとにセンサー部分のメンテナンスが発生
・継続的な消耗品の販売



Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

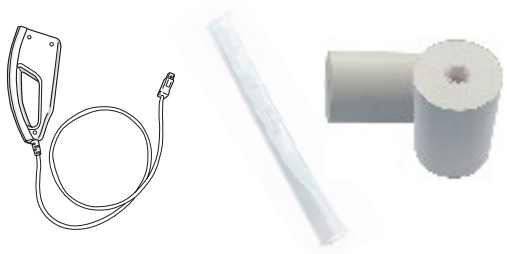
2023年3月期の主要施策（アルコール検知器関連）

アルコール検知器のアフターサービス

お客様

メンテナンス

消耗品販売



アフターサービスで
お客様とのさらなる
信頼性構築

問題点があれば
改善につなげる

永続的なビジネスへ

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期の主要施策（アルコール検知器の拡販）

今後の展開

前 → **白ナンバー義務化** → 後

現在は、アルコール検知器使用の義務化を控え
安価で**簡易的**なアルコール検知器が**数多く導入**
されている傾向

緑ナンバー義務化の経験から
義務化後は**高精度**や**アルコール検知＋α**
の需要が高まると見込む

当社は**高精度・高性能**の
アルコール検知器を**ラインナップ**

ハンディ型

設置型

アプローチ

未導入企業
→ **当社製品の導入**

提案の両輪を回す

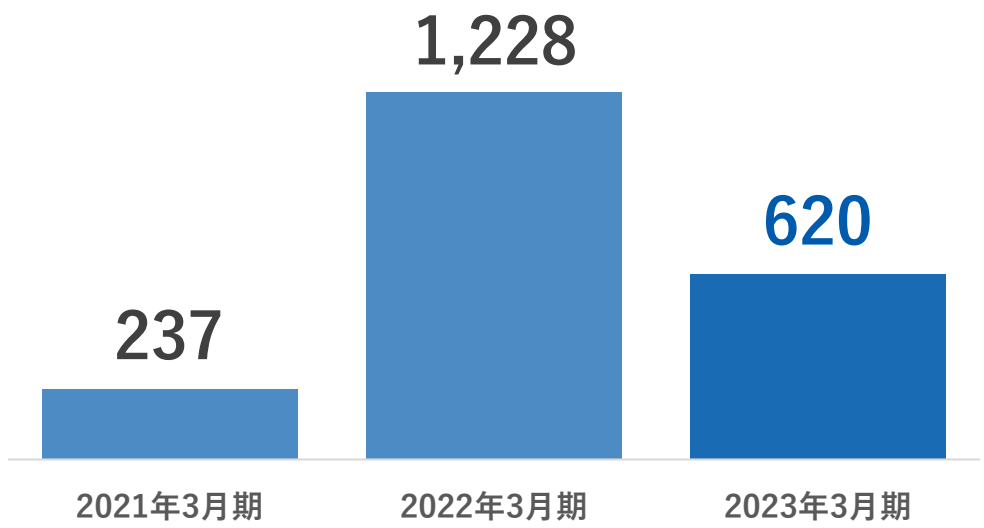
導入済み企業
→ **当社製品への切替え**
→ **システムアップ**

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

2023年3月期 設備投資計画

設備投資額

（百万円）



2023年3月期計画：620百万円

■ 主な設備投資

・**製造設備の追加および刷新**
国内工場（野田・奈良）およびタイ工場における製造設備を増強することで、安定性・生産性の向上を図る

・**営業拠点の新築移転**
広島支店および大阪支社の新築移転を行い、業務効率化や在庫体制の拡充を図り、営業力を強化していく

広島支店の開設（2022年6月～）

経営資源の集約や業務の効率化・拡大を図ることを目的に
広島営業所と広島事業所を統合し『広島支店』を開設

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

株主還元

配当	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期（予想）
1株当たり年間配当金（円）	24.0	26.0	26.0	28.0	29.0
配当性向（%）	20.8	21.0	20.3	20.6	21.8

配当方針　必要な内部留保は確保しつつ、安定的・継続的な増配を目指す

株主優待　当社株式を1単元（100株）以上保有の株主様に
一律、500円分のQUOカード（クオ・カード）を贈呈

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

SDGsの取組み

環境負荷の低減

当社グループの一部社屋に
太陽光発電システムの設置や
自然環境・作業環境に
やさしい製品の開発など
環境に配慮した取組みを推進

安全かつ強靭な構造物の形成

独自の締結技術を軸に
経年劣化により耐久性の
低下した構造物の補修や
自然災害に強い街づくりを支援

女性活躍の推進

「女性活躍推進協議会」を起点に
産休・育休キャリアマップや
ママサポート相談窓口の設置
産休・育休取得の推進・支援
女性管理職比率の向上を図る

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

SDGsの取組み

紙パッケージ製造機器の販売

グループ会社の成光産業で
プラスチック不使用の
100%紙製ブリスター包装を可能と
する機器（イリッヒ社製）を販売

地元サッカークラブとパートナー契約

NAGAREYAMA
20 21

本社が所在する千葉県流山市で
初の社会人サッカークラブである
NAGAREYAMA F.C. とともに
街の地域活性化に貢献

ちばSDGsパートナーの登録企業に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

千葉県が創設した
「ちばSDGsパートナー登録制度」に
パートナー企業として登録

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.

本資料の取扱いについて

■本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

■本資料における将来の展望に関する表明は、公表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

Copyright © SANKO TECHNO GROUP All Rights Reserved.